



1. 心臓に関する疾患

2. 生活習慣病

3. 睡眠時無呼吸症

4. 土曜日診療

One For ALL

ホームページ



診療予約



2019年11月 診療カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

休診日 午後休診 18時最終受付

診療時間

午前9時半～午後1時、午後3時～午後6時半

住所: 東京都中央区日本橋大伝馬町13-8
メディカルプライム日本橋小伝馬町3階
TEL: 03-3639-3110 FAX: 03-3639-3112
休診日: 月曜日午後、土曜日午後、日曜祝日

<今月の予定>

- 11月4日(月) 休診 (文化の日・振替休日)
- 11月5日(火) 14:10~14:50
地域健康講座(8F ペロペパ)
- 11月14日(木) 18時最終受付
- 11月23日(土) 休診 (勤労感謝の日)



<お知らせ>

- ・10月1日よりクレジットカード・交通系ICに対応しております(詳しくは下記参照)。是非ご利用ください。
- ・10月1日よりインフルエンザの予防接種を開始しております予約も可能ですので、Web、電話にてお問い合わせください
- ・11月の地域健康講座のテーマは「健康的な食事とは？」ですお時間のある方は是非ご出席ください



「One For ALL」

この原稿を書いている時点で、ワールドカップ・ラグビーは準決勝が終わり、イングランドと南アフリカが決勝戦で戦うことが決まっています。優勝するのは前回のワールドカップで日本を率いたエディー・コーチのイングランドか、準々決勝で日本を破った南アフリカなのか試合を見るのが楽しみでワクワクしています。

自分にとってラグビーというと、お正月に見た新日鉄釜石の松尾や神戸製鋼の平尾、そして早慶戦などが印象にありますが、今回のようにじっくりと解説を聞きながらテレビを見たことがなく、ラグビーがあのように理論立って行われていたことを知って大変感銘を受けています。

タックルや一見無謀とも思えるボールを持って敵の集団の中へ突き進むプレーにも理屈があって、最終的にトライを奪うために地道な作業を繰り返す姿勢に心を打つのだと

思います。

ラグビーが今回脚光を浴びたもう一つの要因はその精神性にあるのではないのでしょうか。「One for all, All for one」「No Side」「One Team」などの言葉が日本人の心に響くのでしょうか。

ところでみなさんはOne for all, All for oneの意味を知っていますか? 「一人はみんなのため、みんなは一人のため」という意味と思われがちですが、「一人はみんなのため、みんなは一つの目標(トライ)のため」というのが本当の意味のようです。この一つの目標のためにみんなで協力するという姿勢が日本人の感性にあっているのでしょうか。

また、ラグビーの紳士的な態度も好ましく感じました。試合中にサッカーのように大げさに痛がったりする光景もなく、試合後にお互いに健闘をたたえ合う姿、試合が台風のため中止になった釜石市ではカナダチームが復旧のボランティア活動に参加することも報じられていました。その品格のある態度が今回の人気の秘密なのではないのでしょうか?

「ノーサイド」という言葉もラグビーでよく使われる言葉ですね。これはラグビーの試合終了の時に使われ、「試合が終了したら敵味方がない」、というような意味で使われていると思うのですが、実は今ではほとんど使われなくなって、使われているのは日本くらいであるということを知りました。今では試合終了の合図はFull Time(フルタイム)が使われているようです。でも個人的にはなんだか「ノーサイド」のほうがかっこいい気がしますね。松任谷由実の有名な歌もありますよね。

実は息子の学校はラグビーの強豪校として知られています(息子は運動音痴なので全く関係ありませんが)。息子の話によるとラグビー部の人達は勉強も優秀で人間的にも素敵な人が多いそうです。その理由についてはこれまで分らなかったのですが、今回のワールドカップを見て人間的に素敵な理由がちょっと分かった気がしました。

文責 齋藤 幹

